令和８年度　　瑞穂野中学校　学校評価書　計画書

※　網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

１　教育目標（目指す生徒像含む）

（１）基本目標

人間尊重の精神を基盤に，豊かな心と個性をもち，自主性・創造性を発揮して，　たくましく生きる人間を育成する。

（２）具体目標（具体的な生徒像）

○　心身ともに健康で，気力あふれる生徒（強く）

○　自ら学び，創造性に富む生徒（賢く）

○　思いやりがあり，心豊かな生徒（明るく）

○　地域や世界に関心を持ち，未来を拓く生徒（拓く）

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

・人権や生命尊重を基盤に知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動を推進する。

・生徒は，学習や生活，行事や部活動等に目的や目標をもって取り組む中で，自己を振り返りながら，将来の夢や目標に向かって粘り強くたくましく生きる力を身に付ける。

・教職員は，自己に与えられた使命を自覚し自己研鑽に励み，校務のデジタル化や業務改善による効率化や簡略化を進めることで，心身ともに健康な状態で職務に取り組みながら，生徒，保護者，地域から信頼される学校づくりに努める。

３　学校経営の方針（中期的視点）　※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

スローガン　つながる　優しさ　思いやり　たくましさ

（１）夢や目標の実現に向けて，安心して学ぶことのできる居場所のある学校づくり（強く）

・心身ともに健康で，自分のよさを発揮し，誰もが安心して学べる活力ある学校を推進する。

・教職員の和を基調とし，同僚性を高め，生徒と向き合う時間や自己研鑽の時間を確保し，業務の効率化を図り，取り組み，よりよい教育環境に配慮した安心安全で快適な学校づくりを推進する。

（２）生涯学び続けることのできる資質・能力を身に付けられる学校づくり（賢く）

・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り，考えを表現する学び合い活動や振り返り活動を取り入れるなど，生徒一人一人の確かな学力の向上に努める。

・自分で考え判断する場の設定をして，情報を活用する力と課題を解決する力を育成する。

（３）自信や自己肯定感を高め，思いやりがあり豊かな心を育む学校づくり（明るく）

・一人一人を大切にし，生徒理解を基盤に，発達段階に応じた教育相談や適切な支援の充実を図る。

・豊かな体験や人と関わり合いを通して，優しさや思いやりにあふれる生徒の育成を図る。

（４）地域の良さを知り，自分の良さを生かして未来につながる持続可能な学校づくり（拓く）

・一人一人の生徒が自己の特性について理解を深め，自己のよさに気付くとともに，多様な人々と協働して課題を解決していくことのできる資質・能力を育成する。

・地域人材や物的資源を有効に活用し，地域との連携・協働を一層深めるとともに，地域とともに歩む学校づくりを推進する。

【瑞穂野地域学校園教育ビジョン】
９年間の連続した学びの中で，生きる力（確かな学力，健やかな体，豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育
―言語能力を身に付け，他者と関わり合いながら，たくましく成長する児童・生徒の育成―
◎最重点目標：学習基盤となる態度や学習習慣の育成と基礎的な言語能力の向上

４　教育課程編成の方針

教育基本法及び学校教育法その他の法令並びに学習指導要領の示すところに従い，本校教育目標の具現化を目指し，生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成が図れるよう適切な教育課程を編成する。その際，確かな学力を育む教育，豊かな心を育む教育，健康で安全な生活を実現する力を育む教育，地域とともに歩む学校づくりに留意する。

５　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

（１）学校運営

『夢や希望に向かって挑戦するたくましい生徒の育成』

令和８年度　学校スローガン「つながる　優しさ　思いやり　たくましさ」

・確かな学力の育成　・居場所のある学校づくり　・地域とともに歩む学校づくりの推進

地域学校園ビジョン「生きる力」を育む知育・徳育・体育のバランスのとれた教育活動の実施と教科等横断的な視点に立った資質・能力（学習の基盤・現代的な諸課題）の育成に向け，全職員が取り組むべき課題として共通認識し，業務の効率化を図りながら，課題の解決に組織的・計画的に取り組む。また、他者と関わり合いながら言語能力を身に付ける場面において，生徒の主体的な活動を促すとともに，「認め励ます指導」を充実させ，粘り強くたくましく成長する生徒の育成を目指す。

（２）学習指導

〇学習基盤となる態度や学習習慣の育成（地域学校園最重点目標）

・「確かな学力の育成」「主体的・対話的で深い学び」「学び合い活動や振り返り活動の充実」

・「宇都宮モデル」（はっきり，じっくり，すっきり）の指導の充実と各過程の質的向上

・１人１台端末を効果的に活用するなど，課題解決する力を高められるように，意見を交換し，学び合いながら考えたことを表現させる，学びを深めるための支援の充実

・自己の能力を最大限に発揮できるよう，特別支援教育の視点を取り入れた「よさを伸ばす指導」の充実

（３）児童生徒指導

〇いじめ・不登校対策の充実と特別支援教育の推進を通した生徒の健全育成

・人権尊重を大切にした生徒指導・支援の充実，「認めて　ほめて　励ます」生徒指導・支援の充実

・規範意識（ＳＮＳトラブル含）を高め，思いやりをもち，良好な人間関係を築ける生徒の育成

・早期段階からの不登校対策や学校復帰に向けた組織的対応の充実

・いじめを生まない指導・適切な対応や支援・不登校対策といじめを生まない指導・支援の組織的な対応。

（４）健康（体力・保健・食育・安全）

〇基礎体力の向上と健康の保持増進を図るための健康安全教育の推進

・元気アップ教育の一体的な捉えとデジタルを活用した健康教育の充実

・体力向上を目指した体育的活動の推進と運動機会の創出（体力向上）

・健康の保持増進を図るための健康相談や保健指導の充実（保健教育）

・望ましい食習慣の定着（朝食の欠食改善を含）を図るため、日常生活で実践できる食に関する指導の計画的配置と学校と家庭の双方向における指導の充実（食に関する指導）

・自身の安全を守るための判断力や実践力を育成するため、安全教育の充実（安全教育）

６　自己評価　A1～A21は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に〇印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　生徒は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 **【数値指標】** **・生徒，教職員の肯定的回答90%以上**	**・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し，教師が授業のねらいを明確にするとともに，生徒がじっくり考え粘り強く学習に取り組む場を設ける。** **・生徒の情報収集・活用能力の育成を図るため，各教科の授業の中で，グループ学習や生徒同士が対話を通した情報交換の場を積極的に設ける。** **・家庭学習の指導やAI学習ドリルの活用などを通じて，家庭学習の習慣化を図る。**		**【達成状況】** **【次年度の方針】**

１－（２）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　生徒は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答90%以上**	・日常の学校生活や多面的・多角的に考え，議論する工夫した道徳の授業を通して，自分なりの考えを伝え合い，実践する力が身につくような指導を展開していく。 ・認め合える学級の雰囲気をつくり，思いやりの心を育てる。 ・行事での振り返りや帰りの会等で思いやりのある行動をとった生徒等の事例を紹介，称賛することで啓発していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ３　生徒は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 **・生徒の肯定的回答 85%以上，教職員の肯定的回答 90%以上**	・学級活動では，自己の生き方を考えさせるとともに，目標に向かって日々努力することや諦めずに粘り強く学習や運動に励み続けることの大切さを指導していく。 ・学校行事を通し，自己実現可能な目標を見出させ，目標に向かって粘り強く取り組む力を高める指導を展開し，達成感を味わわせる。 ・目標に対する取り組み状況を振り返り，粘り強く取り組めている生徒を称賛する。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（３）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　生徒は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答90%以上**	・授業での活動を通して，健康や安全についての意識を高め，交通安全教室や避難訓練，生活安全委員会で，実践力を高める。 ・定期的な登下校指導，安全点検等を通して安全に生活できる環境作りに努める。 ・定期的に保健委員会が衛生検査を実施し，健康面への配慮を促す。 ・定期的に給食委員が給食時の身支度・ランチョンマットの活用等検査や呼びかけをし，衛生面への配慮を促す。 ・朝食の欠食指導について，保健だより，給食だより，委員会活動等を通して，継続的に指導していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
１－（４）将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　生徒は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答85%以上**	・様々な活動の場面（MBS，帰りの会の振り返り）で，日ごろのよい行いをしている生徒を認める活動を行う。 ・グループ活動を通して，お互いの意見を認め合う取組を支援する。 ・学校行事などの活動を通じて，協力して活動することの大切さを実感できるように支援する。		【達成状況】 【次年度の方針】

2－（1） グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　生徒は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 **・生徒の肯定的回答 80%以上**	・英語の授業に ALT を積極的に活用し，言語活動の充実を図る。 ・授業中はもとより，給食時の会食の場においても ALT と英語でコミュニケーションをとるよう促していく。 ・授業でインタビューテストを行い，生徒が積極的に英語を用いて活動できる時間を増やしていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ７　生徒は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 **・生徒の肯定的回答 85%以上**	○総合的な学習の時間での「宇都宮学」で，宇都宮の良さを学ぶ探究活動の充実を図る。宇都宮学を取り扱う時期を工夫する。 ○地域の行事への参加を促し，宇都宮の良さを知る機会を増やすとともに各種たよりやホームページを通じて保護者にも取組の様子を伝える。 ・献立に地産地消の食材や郷土食，宮っ子ランチを用い，給食時の献立の説明等で宇都宮の農産物への理解・関心を深めさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
2－（2） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　生徒は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 **・生徒の肯定的回答 80%以上，教職員の肯定的回答 90%以上**	・各教科等において，ICT 機器(1 人 1 台端末)を積極的に活用し，学習効果を高める。 ・情報教育や総合的な学習の時間における調べ学習等で，ICT 機器の基本的操作や有効に活用する技能，図書（デジタルを含む）等を活用する力を育成する。 ・授業等を通して，アプリを活用するために必要な基礎的な知識や技能を身に付けさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
2－（3） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　生徒は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答 80%以上**	・生徒会活動を中心に「持続可能な社会」の実現に向かう具体的な取組を考えて，地域未来会議で協議，助言をもらい実行に移すよう促す。 ・各授業の中で，SDGｓについての話合い活動を意図的に取り入れ関心をもたせる。		【達成状況】 【次年度の方針】
3－（1） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 90%**	・特別な支援を必要とする生徒について，個々の実情に合った個別の支援計画を作成したり，ケース会議を実施したりし，年間を通して適切な支援ができるようにする。 ・校内支援委員会や教育相談委員会を定期的に開催し，情報交換を行う。 ・特別な支援を必要とする生徒についての指導力を高めるために職員研修や SC による講話を年間スケジュールに位置付けるとともに、関係機関や SC・MS の支援を積極的に取り入れる。		【達成状況】 【次年度の方針】

３－（２） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答 95%，保護者の肯定的回答 80%**	・学級担任は，いじめは絶対に許さない毅然とした姿勢で学級経営を行う。 ・生徒会が中心となって行う「いじめゼロ集会」を通して，「いじめをしない・させない・見逃さない」という意識を持たせる指導を行い，いじめの未然防止に努める。 ・「いじめアンケート」では，いやな思いをしている生徒については組織で迅速に対応し，早期解決に努める。 ・道徳科の授業でいじめに関する共通課題を設定する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 90%以上，保護者の肯定的回答 85%以上**	・生徒の話を丁寧に聞き，気になる生徒にはこまめに声掛けを行う。また，保護者との連携を欠かさないようにする。 ・教育相談委員会を通して SC や校内教育支援センター支援員とも情報を共有し，家庭や市教育センター等関係機関とも連携しながら対応していく。 ・校内教育支援センターの充実と，全教職員による生徒への支援を行う。 ・帰りの会や清掃の反省会などで頑張っている生徒を称賛する活動を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
３－（３） 外国人児童生徒等への適応支援の充実 ３－（４） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	Ａ13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 **・生徒の肯定的回答 90%以上，保護者の肯定的回答 85%以上**	・学級経営や教育相談を充実させ，生徒に寄り添った関係作りに努める。 ・生徒一人一人が安心して活躍できたり，必要とされていることを感じられたりする関係作りを図る。 ・生徒自身が問題解決に取り組む中で，WEB･QU の活用や生徒の困り感への対応といった支援を行うことで，生徒の自己肯定感を高める。 ・三者懇談や教育相談・学級通信・ダイアリー等を通して、生徒一人一人の良さを認めて，褒めて，励ましていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（１） 教職員の資質・能力の向上	Ａ14　教職員は，分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】 **・生徒の肯定的回答 90%以上，保護者の肯定的回答 85%以上**	・宇都宮モデルを基に，「ねらい」「学び合い」「まとめ」「振り返り」を学習活動に適切に位置付け，「分かる・できる授業」づくりに努める。 ・「一人一授業」公開を実施し，教員の授業力向上を図る。ホームページに実施の様子を載せ，保護者等への周知を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

４－（２） チーム力の向上	Ａ15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 90%**	・校長を中心とした「チーム学校」の考えのもと，ミドルリーダーを中心に，お互い協力し合いながら業務に取り組む職場環境を構築していく。 ・一人一人が「風通しの良い職場」を意識することで，各種会議等で情報の共有化を図るよう同僚性を高める。 ・一つ一つの課題に全職員で取り組む職場環境を構築する。		【達成状況】 【次年度の方針】
４－（３） 学校における働き方改革の推進	Ａ16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 90%以上**	・管理職は教職員の出退勤時刻を把握し，時間外勤務の多い教職員に対して，個別に面談し，勤務時間の適正化を指導，助言していく。 ・みずほデータなど校務のデジタル化による業務の効率化，業務の精選，部活動方針の徹底など，教職員の勤務時間の縮小に取り組む。 ・企画委員会や学年主任会，職員会議を活用して，学校行事の円滑な運営や計画的な学校経営を行う。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ17　生徒と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 100%**	・校務のデジタル化を進め，ICT 支援員と連携して業務の効率化を図る。 ・行事，授業準備を教職員間の共有による「協働型」に転換し，作業の重複を軽減して時間確保に努める。 ・地域や保護者の理解・協力を得ながら，学校業務や役割分担の見直しを進める。		達成状況】 【次年度の方針】
５－（１） 全市的な学校運営・教育活動の充実	Ａ18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 **・保護者の肯定的回答 85%以上，教職員の肯定的回答 90%以上**	○小中一貫教育推進主任を中心に，学校間の情報交換や交流・連携を推進するために，各部会の運営方針を明確にし，分科会活動の充実に努める。 ・さくら連絡網や学校ホームページでの保護者・地域への啓発や校内でも事務室前の掲示板に「地域学校園コーナー」を設置して来校者に情報発信を行い，小中一貫教育への周知を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】
５－（２） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 ５－（３） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	Ａ19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 **・保護者，地域の肯定的回答 80%以上**	○総合的な学習の時間において，地域の蛍水会の協力を得ながら，ホタルの飼育を行っていく。また，食農体験学習では，地域の農家の協力を得ながら，田植えからお米の収穫までの活動を行っていく。 ○社会体験学習を通して，地域の企業等と連携しながら，キャリア教育を進める。 ・各種たよりをさくら連絡網や学校ホームページで，または保護者会等で情報発信し，保護者・地域との連携を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 **・教職員，保護者の肯定的回答 90%以上**	・安全点検を毎月確実に行い，環境整備を心掛けるとともに，必要に応じた修繕をする。 ・教職員の危機管理意識を高めることで，危険な場所の早期発見と迅速な改善に努める。 ・整理整頓に努め，避難経路が確保された校舎や体育館の維持，管理に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 95%**	・１人１台端末を宿題等の連絡ツールとして，生徒が授業中や宿題などの課題学習を行えるようにする。 ・教職員間での１人１台端末の使用に関する情報共有を学年会議や教科部会を通して，積極的に行う。 ・学校ホームページやさくら連絡網を活用して保護者や地域に積極的に情報を発信する。		【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　生徒は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答 90%以上**	○生徒があいさつしやすい環境をつくり，あいさつの大切さはもとより，あいさつの声が飛び交う明るい学校づくりの一員として行動させる。 ○生徒会執行部や生活安全委員があいさつ運動を行う。 ○授業前後のあいさつを丁寧に行う。 ○瑞穂野地区まちづくり協議会と協力して小中一貫のあいさつ運動を継続し，積極的なあいさつを啓発していく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　生徒は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答 90%以上**	・生活安全委員を中心に身だしなみ点検を行う，また，校則改正を生徒会執行部を中心に取り組み，生徒が主体的にきまりを守るように促していく。 ・生徒指導委員会で示された方向について教職員が共通理解を図り，同一歩調で指導を行い，きまりやマナーを守るように支援する。 ・誤った言動をした生徒を見過ごさず，指導を適切に行うことにより，規範意識を高めていく。		【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ３　教職員は，言語能力の育成を図るために，言語活動の充実に取り組んでいる。 【数値指標】 **・教職員の肯定的回答 90%以上**	○教職員が，話合い・発表の場面において，生徒が考えを表現するための方法を事前に準備し，計画的に実施する。 ○教職員が，振り返り活動において生徒が適切な言葉で表現したり，根拠をもって考えを述べたりできる環境を整える。 ○生徒が適切な言語活動を行っている時には称賛し評価をする。		【達成状況】 【次年度の方針】

	Ｂ４　学校は，生徒が意見を表明する機会の確保に取り組んでいる。 【数値指標】 **・生徒，教職員の肯定的回答95%以上**	○学級活動や学校行事等において生徒が話し合う機会を設け，生徒の意見を尊重しながら学級経営に取り組む。 ○生徒会活動をより活性化し，教師主導でなく，生徒の自主的・自発的活動を促す。 ○学校生活のきまりの見直しや生活環境の改善について，生徒の意見を取り入れながら，学校生活の質の向上を図る。		【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。